

佐倉福音キリスト教会

サクサク通信

2020年9月号(第69号)



牧師：大高 伊作

電話：043-461-2983

住所：佐倉市白井田 774-83

mail: isaku.sakura.church@gmail.com

HP : <http://sakura-fukuin.com>



今月の聖書のことば

「神の御前にあらわでない被造物はありません。神の目にはすべてが裸であり、さらけ出されています。この神に対して、私たちは申し開きをするのです。」

【ヘブル人への手紙 4 章 13 節】

聖書には、世の終わりの前兆について記されています。偽キリストが大勢現れ、民族は民族に、国は国に敵対し、大きな地震があり、方々に飢饉や疫病が起こり、恐ろしい光景や天からの大きなしるしが現れると記しています(ルカの福音書 21 章参照)。まさに、今の時代が終わりに向かっていることを思わされています。では、世の終わりを迎えたなら何が起こるのでしょうか。

今月の聖書のことばには、神の前にはあらわでない被造物はないとあります。被造物とは造られた物のことですから、人間も含めて、全て造られた物は神の前にあらわになっていると言います。それを言いかえますと、「神の目にはすべてが裸であり、さらけ出されてい」ることになります。この言葉を読んで、どんな思いになるでしょう

か。ドキッとするのでしょうか。「神の目にはすべてが裸」とありますが、人の目に見えないところで、誰にも気づかれないように不正を働いている人にとってはドキッとする言葉になるでしょう。例えば、政治の世界では私たちの知らないところで様々な不正が行われていて、時々それが明るみになります。私たちが知らずにいる不正は多くあることでしょう。また、お店などに万引き防止のカメラやあらゆる装置が配備されつつも、それをかいくぐって万引きする人もいます。更に、匿名であることを良いことに、SNS では誹謗中傷が後を絶ちません。芸能人がターゲットにされたり、一般人であっても名前や住所がさらされたり、嫌がらせを受けることもあります。そういった事々は隠れたところで行なわれ、上手

くいけば誰からもお咎めを受けずに済んでしまうことかもしれません。しかし、聖書は言います。「神の目にはすべてが裸であり、さらけ出されています。」私たちの目は誤魔化すことができますが、神の目にはすべてが裸です。この事実と真剣に向き合うならば、私たちの生き方は変わるのではないのでしょうか。そして、聖書は更に次のように言います。「この神に対して、私たちは申し開きをするのです。」これが私たちの最後に待っていることです。今の世は終わりへと向かっています。聖書は、イエス・キリストがもう一度この地上に戻って来られると語ります。それを「再臨」と言いますが、クリスチャンは再臨を待ち望んでいます。この再臨が起こったら、最後の審判があり、私たちはその行いを問われます。それがどのような形で行なわれるのか、はっきりしたことは分かりません。しかし、分かっていることがあります。それは、全てをご覧になっていた神に対して申し開きをすることになるということです。どんな小さな不正

～集会案内～

○日曜日：第一礼拝 9:00～ 第二礼拝 11:00～ ○水曜日：聖書研究祈祷会 10:30～12:00
教会学校 10:10～10:40（現在は子どものみ） 19:30～21:00
○毎月第2火曜日：ユニケの会 10:30～12:00（休止中。子育てなどをしている方のための集い）

聖書に関する疑問等ございましたら、遠慮なくご連絡ください。また、当教会は、エホバの証人やモルモン教、統一教会等とは一切関係のない、プロテスタントキリスト教会です。

に対しても、義であり、聖であり、汚れなき神は問われます。この厳粛な事実を前にして、「私は安心だ」と言える人はいるのでしょうか。自分の罪に恐れをなすということはないのでしょうか。しかし、その恐れこそが大切です。そのような罪人のために、イエス・キリストは私たちが本来受けるべき神の罰を身代わりとなって十字架で受けて下さいました。ですから、イエス・キリストの十字架を私の罪のための十字架であると信じるならば、罪を問われることはありません。イエス・キリストが身代わりに神の罰を受けてくださったからです。

あなたは、神に申し開きをするという事実に、どのように向き合われるのでしょうか。

◆コラム

私たちが犯したどんな些細な罪も、神の前に問われます。神の前に、一度でも罪を犯しているならば「罪人」として見られます。神は「あの人よりはまし」という相対評価ではなく、絶対評価を下されます。その神を前にして、「私は一度も罪を犯しませんでした」と告白できる人はいません。そして、義なる神は罪に対してはさばきを行なわれます。それが永遠の滅びです。では、どうしたらこの滅びから逃れ、救いを得ることができるのでしょうか。それが自分の罪を認め、上記に書いたようにイエス・キリストの十字架の死を受け入れることです。ここに私たちの救いがあります。